

令和5年度 保育園における自己点検・自己評価（忠見保育園）

A:十分理解している（できている）
B:理解している
C:努力が必要

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価			意見・改善策
		A	B	C	
保 育 理 念 に つ い て	自国の保育理念・目標について理解し、職員会議や研修等で説明ができる。	17	7	1	○自園の保育理念・目標について、保育理念は、理解しているが説明を求められると説明できない 占と理解していないという結果がでた。改善策として、職務会で理念の確認や各保育室の壁に掲しながら保育理念の理解に努める意見があり、早急に取り組みたい。 ○保育過程を作成する際、保育所保育指針と保育理念・保育目標の関係を理解しているが、保育 所保育指針を振り返りや作成時に活用しないことが多数報告として上がった。
	保育所保育指針と保育理念・保育目標の関係を理解し、保育課程を作成している。	17	4	4	
	保育の目標を達成するためにねらい」があり[ねらい」をより具体的ににしたものが指導計画であり、保育 の内容であることを理解している。	21	3	1	
	全体的な計画の作成及び指導計画の作成は全職員で検討し、かつ共通理解をはかっている。	21	3	1	
保 育 に つ い て	保育の計画に基づいて保育をし、保育内容の評価及び改善に努め、質の向上を図るとともに、社会的 責任を果たさなければならないことを理解している。	20	3	2	○保育についての各項目では、高い評価が出ている。保育園が社会的責任を果たす役割や各年齢に合った指導計画の作成、保育の環境構成とでは、子ども達の生活の場が豊かになれるような 取り組みが各クラスで実施できた。今後も継続して取り組んでいきたい。
	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢にあった指導計画であり個々の発達にも留意したものを 作成している。	16	5	4	
	人、物、場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活の場が豊かになるよう「保育 の環境」に留意し保育を行っている。	21	3	1	
	保育所の特性である養護及び教育が一体的に展開されることを理解し、留意している。	20	4	1	
行 事 に つ い て	(1)行事の種類や実施回数は適切か	18	6	1	○今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事の規模縮小や中止が多かった。その 中でも、感染予防を徹底しながら開催できた運動会や発表会は職員一同の達成感が伝わった。更に、保護者からも、開催に喜ぶ声も多数聞くことができた。行事後の振り返りでは、各職員が改善 点や次年度に繋げる点を出し合い振り返りに努めている。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	22	3	0	
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか	19	6	0	
	(4) 計画・実施・評価・改善(P・D・C・Aサイクル)の体制をとっているか	18	2	5	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか	22	3	0	

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容	評価			意見・改善策
			A	B	C	
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1)職務内容が明確で、協働できる体制になっている。	20	5	0	○専門リーダーや毎月の行事担当などの職務内容が明確に示されていることで、事前の準備等に 取り掛かりやすくなっている。
		(2) 職員の配置は適材・適所になっている。	19	6	0	
		(3)係や仕事の分担・割り当ては適切である。	18	4	3	
	運 営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めている。	24	1		○定例の会議に加え必要に応じて会議や打ち合わせなど適切な回数をこなし職員間の連携は十分に図れている。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的に立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設運営に関わっ 営っているか。	17	3	5	
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か	22	3	0	
	年 齢 別 ク ラ ス 運 営	(1)年齢別・クラス目標は、全体的な計画や保育目標に基づいて設定している。	19	6	0	○5領域を意識した保育内容を各年齢ごとに取り組み保育を展開している。特に、異年齢間の交流(鏡割り保育)は、全職員が楽しみに足り組む姿勢が見られる。今年度、掲げた「インクルーシブ保 育」を継続して取り組みたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定している。	18	7	0	
		(3) 同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っている。	19	6	0	
		(4)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っている。	16	5	4	
		(5) 評価、資料(諸記録)を集積し、保育の見直しにいかしている。 <PDCAサイクル>	17	4	4	
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1)保育所は、子ども一人一人と集団全体の健康及び安全の確保に努めなければならないことを 理解している。	22	3	0	○保健衛生安全対策リーダーを中心に、感染症状況を掲示板に掲示し保護者へ情報発信に取り 当組んでいる。児童の避難訓練・交通安全指導は、計画的に実施することで防災意識を子ども達が、意識するようになってきた。 ○散歩コースを改めて検証し、安全対策整えて行えるようにした。
		(2)避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している。	22	1	2	
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	19	6	0	
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	19	6	0	